



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場会社名 古河機械金属株式会社
コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮川 尚久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員経理部長 (氏名) 岩田 穂

TEL 03-3212-7021

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	78,557	△5.7	2,769	105.6	2,468	631.3	1,256	—
25年3月期第2四半期	83,291	12.3	1,347	351.9	337	—	△113	—

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 4,682百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △2,104百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	3.11	—
25年3月期第2四半期	△0.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年3月期第2四半期	184,801		55,368		29.1	
25年3月期	186,076		51,507		26.9	

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 53,847百万円 25年3月期 50,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	△3.3	5,700	69.5	4,500	62.8	2,500	△16.0	6.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	404,455,680 株	25年3月期	404,455,680 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	323,114 株	25年3月期	318,422 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	404,134,547 株	25年3月期2Q	404,140,964 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算説明会終了後、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
平成26年3月期 第2四半期決算短信 補足資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～同年9月30日）の我が国経済は、経済・金融政策の効果等を背景として景気は持ち直しつつありますが、海外景気の下ぶれが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

このような経済状況の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は785億57百万円（対前年同期比47億33百万円減）、営業利益は27億69百万円（対前年同期比14億22百万円増）となりました。売上高は主として産業機械部門、ユニック部門および金属部門が対前年同期比増収となりましたが、平成24年10月に燃料部門から、平成25年3月に塗料部門から撤退したことを主因として減収となりました。なお、両部門の前年同期の売上高は、燃料部門が37億70百万円、塗料部門が76億64百万円、計114億34百万円でありました。経常利益は24億68百万円（対前年同期比21億30百万円増）となりました。特別利益には、受取補償金他8億15百万円、特別損失には減損損失他2億22百万円を計上した結果、四半期純利益は12億56百万円（前年同期は1億13百万円の損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの業績の概況は次のとおりであります。

[産業機械]

前年度に受注した震災被災地における高台移転工事関連の破碎・運搬設備につきましては出来高に対応する売上を計上した他、粉碎機等の一般産業機械も好調で増収となりました。産業機械部門の売上高は74億39百万円（対前年同期比11億42百万円増）、営業利益は5億21百万円（対前年同期比3億41百万円増）となりました。

[開発機械]

国内向けは、復興需要等による油圧ショベルの需要増加を受けて油圧ブレーカを中心に売上を伸ばすことができました。海外向けは、円安効果を主因として欧州向けや北米向けが増収となりましたが、中国の景気減速や世界的な資源価格の低迷により全般に需要は低調であり出荷台数は減少しました。開発機械部門の売上高は124億99百万円（対前年同期比8億21百万円増）、営業損失は42百万円（前年同期は33百万円の利益）となりました。

[ユニック]

国内普通トラックの登録台数は、政府による経済対策の効果等により対前年同期比105.3%となり、復興需要もあってユニッククレーンの売上が大きく伸びました。また、輸出もミニ・クローラクレーンの出荷増と円安により増収となりました。ユニック部門の売上高は116億72百万円（対前年同期比15億83百万円増）、営業利益は12億98百万円（対前年同期比2億60百万円増）となりました。

産業機械、開発機械およびユニックの機械3部門の合計売上高は316億11百万円（対前年同期比35億46百万円増）、営業利益は17億77百万円（対前年同期比5億25百万円増）となりました。

[金 属]

電気銅の海外相場は、4月に7,434.5米ドル/トンでスタートした後、米国、中国の経済指標や米国金融政策の動向の影響を受けて6,800～7,300米ドル/トン台を上下し、9月には7,290.5米ドル/トンで取引を終えました。国内電気銅建値は4月に76万円/トンでスタートし期末時点では75万円/トンとなりました。伸銅需要については銅板・銅条を中心に回復傾向にあり、電線需要も首都圏再開発や耐震補強工事、メガソーラー建設などの需要により好調を維持しております。電気銅の販売量は48,093トン（対前年同期比579トン減）となりました。金属部門の売上高は円安の進行を主因として増収となり、402億62百万円（対前年同期比27億3百万円増）、営業利益は7億83百万円（前年同期は1億3百万円の損失）となりました。

[電 子]

いまだ原発事故風評被害および半導体不況による苦戦が続いておりますが、主力製品のうち高純度金属ヒ素で一時的な回復が見られました。電子部門の売上高は27億73百万円（対前年同期比9百万円増）、営業利益は27百万円（前年同期は38百万円の損失）となりました。

[化成品]

亜酸化銅は主要用途である船底塗料の省エネタイプ向け需要が伸びた他、酸化チタンの売上も増加し増収となりました。化成品部門の売上高は30億33百万円（対前年同期比4億78百万円増）、営業利益は1億39百万円（対前年同期比21百万円減）となりました。

[不動産]

大阪地区の賃貸ビルの空室率は依然高い水準で推移し売上は低迷しました。不動産部門の売上高は5億24百万円（対前年同期比8百万円減）、営業利益は95百万円（対前年同期比25百万円減）となりました。なお、東京での日本橋室町東地区開発プロジェクトは平成26年3月の開業に向けて順調に進行しております。

[その他]

当社グループの運輸事業を主に行っております。売上高は3億51百万円（対前年同期比29百万円減）、営業損失は38百万円（対前年同期比7百万円の損失減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,848億1百万円で前連結会計年度末に比べ12億75百万円減少しました。これは主として原材料及び貯蔵品、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。負債合計は1,294億32百万円で前連結会計年度末に比べ51億37百万円減少しました。これは主として支払手形及び買掛金の減少によるものであります。有利子負債（借入金）の当第2四半期連結会計期間末の残高は829億91百万円で前連結会計年度末に比べ23億57百万円の増加となりました。純資産は553億68百万円で、その他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度末に比べ38億61百万円の増加となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは主として仕入債務の減少、法人税等の支払いにより10億50百万円の純支出となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは主として有形固定資産の取得による支出等により9億74百万円の純支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは短期および長期借入れによる収入により13億73百万円の純収入となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末に比べ3億64百万円減少し175億99百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回（平成25年5月10日）発表の業績予想における前提を為替85円/米ドル（通期）としておりましたが、直近の動向を考慮し第3・第4四半期では為替を95円/米ドルへ変更いたしました。金属部門では円安の影響により増収となる見込みであり、また、ユニック部門では旺盛な復興需要等を背景に好調を維持し増収となる見込みであります。その結果、通期の売上高を上方修正し、それに伴い、営業利益、経常利益、当期純利益につきましても、それぞれ上方修正しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,268	17,600
受取手形及び売掛金	23,513	22,379
商品及び製品	12,760	13,150
仕掛品	6,960	7,007
原材料及び貯蔵品	11,818	7,976
その他	6,286	6,490
貸倒引当金	△100	△118
流動資産合計	79,507	74,486
固定資産		
有形固定資産		
土地	55,006	54,771
その他（純額）	24,018	25,114
有形固定資産合計	79,024	79,885
無形固定資産		
のれん	64	55
その他	150	174
無形固定資産合計	214	229
投資その他の資産		
投資有価証券	24,682	27,430
その他	3,640	3,776
貸倒引当金	△992	△1,007
投資その他の資産合計	27,329	30,199
固定資産合計	106,569	110,314
資産合計	186,076	184,801
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,532	16,176
短期借入金	36,390	38,989
未払法人税等	1,057	1,399
引当金	222	221
その他	12,236	12,526
流動負債合計	74,439	69,313
固定負債		
長期借入金	44,243	44,002
引当金	1,235	1,114
資産除去債務	200	202
その他	14,449	14,799
固定負債合計	60,130	60,119
負債合計	134,569	129,432

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	18,580	19,197
自己株式	△46	△47
株主資本合計	46,742	47,358
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,727	4,413
繰延ヘッジ損益	△390	144
土地再評価差額金	3,672	3,503
為替換算調整勘定	△2,641	△1,572
その他の包括利益累計額合計	3,368	6,489
新株予約権	53	53
少数株主持分	1,343	1,468
純資産合計	51,507	55,368
負債純資産合計	186,076	184,801

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	83,291	78,557
売上原価	72,987	67,774
売上総利益	10,303	10,783
販売費及び一般管理費	8,956	8,013
営業利益	1,347	2,769
営業外収益		
受取配当金	169	192
為替差益	—	369
その他	219	282
営業外収益合計	388	845
営業外費用		
支払利息	652	565
休鉱山管理費	260	272
その他	485	309
営業外費用合計	1,398	1,146
経常利益	337	2,468
特別利益		
受取補償金	460	718
その他	7	96
特別利益合計	468	815
特別損失		
減損損失	331	186
投資有価証券評価損	289	—
その他	9	35
特別損失合計	630	222
税金等調整前四半期純利益	175	3,060
法人税、住民税及び事業税	625	1,532
法人税等調整額	△408	173
法人税等合計	217	1,705
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△41	1,355
少数株主利益	71	98
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△113	1,256

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△41	1,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,514	1,691
繰延ヘッジ損益	365	447
為替換算調整勘定	82	886
持分法適用会社に対する持分相当額	3	302
その他の包括利益合計	△2,062	3,327
四半期包括利益	△2,104	4,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,163	4,546
少数株主に係る四半期包括利益	59	136

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	175	3,060
減価償却費	1,495	1,342
減損損失	331	186
投資有価証券評価損	289	—
受取補償金	△460	△718
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	665	672
受取利息及び受取配当金	△210	△233
支払利息	652	565
為替差損益 (△は益)	△23	△121
売上債権の増減額 (△は増加)	2,487	1,455
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,916	4,269
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,439	△9,070
その他	△2,549	△1,737
小計	3,328	△329
利息及び配当金の受取額	253	249
利息の支払額	△656	△565
法人税等の支払額	△550	△1,269
法人税等の還付額	291	145
補償金の受取額	460	718
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,128	△1,050
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	303
有形固定資産の取得による支出	△919	△1,849
有形固定資産の売却による収入	164	631
その他	239	△59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△515	△974
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,949	3,442
短期借入金の返済による支出	△5,941	△1,366
長期借入れによる収入	9,100	9,080
長期借入金の返済による支出	△8,971	△8,798
配当金の支払額	—	△802
その他	△177	△181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△41	1,373
現金及び現金同等物に係る換算差額	21	286
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,592	△364
現金及び現金同等物の期首残高	14,154	17,964
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,746	17,599

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品	塗料
売上高							
外部顧客への売上高	6,297	11,677	10,089	37,559	2,763	2,555	7,664
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,246	16	41	242	4	445	30
計	7,543	11,694	10,130	37,801	2,768	3,000	7,694
セグメント利益又は損失 (△)	179	33	1,038	△103	△38	160	75

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	燃料	計				
売上高							
外部顧客への売上高	533	3,770	82,910	380	83,291	—	83,291
セグメント間の 内部売上高又は振替高	70	163	2,261	676	2,938	△2,938	—
計	604	3,934	85,172	1,057	86,229	△2,938	83,291
セグメント利益又は損失 (△)	121	△28	1,439	△45	1,394	△46	1,347

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△46百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△44百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	7,439	12,499	11,672	40,262	2,773	3,033
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,219	67	35	203	7	20
計	8,658	12,566	11,708	40,465	2,780	3,054
セグメント利益又は損失 (△)	521	△42	1,298	783	27	139

（単位：百万円）

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	524	78,206	351	78,557	—	78,557
セグメント間の 内部売上高又は振替高	68	1,622	719	2,341	△2,341	—
計	593	79,828	1,070	80,898	△2,341	78,557
セグメント利益又は損失 (△)	95	2,824	△38	2,786	△16	2,769

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△16百万円には、セグメント間取引消去20百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△37百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成24年10月1日付けで、燃料セグメントを構成する古河コマース株式会社の全株式を譲渡し、燃料事業から撤退いたしました。また、平成25年3月27日付けで、塗料セグメントを構成する株式会社トウペの当社が保有する全株式を譲渡し、塗料事業から撤退いたしました。これに伴い、第1四半期連結累計期間より、「燃料」及び「塗料」の両セグメントを除外しております。

前提

		今回予想	対前年同期増減
銅価	第2四半期累計決算 \$/mt	7,112	△ 679
	第3～4四半期予想 \$/mt	7,100	△ 819
	年度予想 \$/mt	7,100	△ 755
為替	第2四半期累計決算 円/\$	98.9	19.5
	第3～4四半期予想 円/\$	95.0	8.2
	年度予想 円/\$	97.0	13.9

平成26年3月期 第2四半期決算短信 補足資料

2013年11月11日

古河機械金属株式会社

〔売上高〕

(単位:百万円 単位未満切捨)

	平成25年3月期	平成26年3月期	対前年同期増減
	第2四半期累計期間	第2四半期累計期間	
機械部門	28,064	31,611	3,546
（産業機械）	(6,297)	(7,439)	(1,142)
（開発機械）	(11,677)	(12,499)	(821)
（ユニック）	(10,089)	(11,672)	(1,583)
金属部門	37,559	40,262	2,703
電子部門	2,763	2,773	9
化成品部門	2,555	3,033	478
塗料部門	7,664	—	△ 7,664
不動産部門	533	524	△ 8
燃料部門	3,770	—	△ 3,770
その他	380	351	△ 29
【合計】	83,291	78,557	△ 4,733

平成26年3月期	
年度予想	対前年増減
68,900	12,047
(18,800)	(5,905)
(25,400)	(2,094)
(24,700)	(4,048)
77,800	△ 144
5,600	612
6,100	1,006
—	△ 15,078
900	△ 158
—	△ 3,770
700	△ 53
160,000	△ 5,539

〔営業利益〕

	平成25年3月期	平成26年3月期	対前年同期増減
	第2四半期累計期間	第2四半期累計期間	
機械部門	1,252	1,777	525
（産業機械）	(179)	(521)	(341)
（開発機械）	(33)	(△ 42)	(△ 76)
（ユニック）	(1,038)	(1,298)	(260)
金属部門	△ 103	783	887
電子部門	△ 38	27	66
化成品部門	160	139	△ 21
塗料部門	75	—	△ 75
不動産部門	121	95	△ 25
燃料部門	△ 28	—	28
その他	△ 45	△ 38	7
（計）	1,394	2,786	1,392
調整額	△ 46	△ 16	29
【合計】	1,347	2,769	1,422

平成26年3月期	
年度予想	対前年増減
4,600	1,676
(1,600)	(821)
(280)	(347)
(2,720)	(507)
900	617
20	282
300	△ 4
—	△ 65
0	△ 219
—	28
△ 50	13
5,770	2,328
△ 70	8
5,700	2,336

平成24年10月1日付けで、燃料部門を構成する古河コマース株式会社の全株式を譲渡し、燃料事業から撤退いたしました。また、平成25年3月27日付けで、塗料部門を構成する株式会社トウペの当社が保有する全株式を譲渡し、塗料事業から撤退いたしました。両部門については、増減比較のために記載しております。